

B - 5 次時へつながる

「次時へつながる」では、本時で学習したことが次の学習の機会に活用されるように、まとめを青枠で囲んだり、解き方のもとになる考え方を書くように指導している。

キーワード、自分の言葉でまとめる



〔1年算数 たしざんとひきざん〕

T: それでは、9のなぞでわかったことをまとめてみてください! 1つだけヒント、「多く」だから何算?

C: たしざん。

C: (「おおいときはたしざん」とまとめて書く。)

〔4年理科 もののかさと力〕

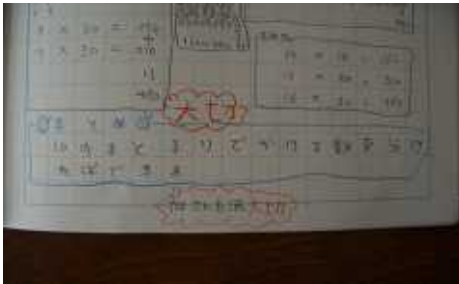
【課題】 かさが小さくなった空気にはどんな性質があるのだろうか。

課題に難語句があったので、すぐに辞書を使って意味を調べさせた。まとめはキーワード(空気、かさ、手ごたえ)を使って課題と対応したまとめを書くようにした。

まとめの例

- ・手ごたえは大きくなったし、かさは小さくなった。
- ・空気の性質は、押したら押し返され、かさが小さくなったら手ごたえは大きくなる。

まとめの青枠、課題に対するまとめ



〔3年算数 かけ算の筆算を考えよう〕

課題 16 × 30 の計算のしかたを考えよう。

まとめ 10 のまとまりでかける数をわければ、今までに習ったかけ算で計算することができる。

次につながり、活用する力となるように、まとめには単なる解き方ではなく、もとになる考え方を書くように指導した。また、課題の赤枠に対してまとめは青枠にし、課題に対応したまとめを書くことを意識させた。このまとめの中の「10 のまとまり」という考え方は、暗算、かけ算の筆算の工夫、二位数×三位数(乗数の末尾2桁、3桁が0)の計算等を学習する時に活用された。

次へ活かせるまとめ

〔6年国語 相手や目的に合わせて書こう〕

T: 次の時間に試しの学校案内ガイドブックを書き直します。合格レベルのよりよいガイドブックにするためには、今の自分の試しのガイドブックのどこをどのように修正すればよいか、今日の話合いで学んだことをもとにノートにまとめなさい。

児童のノート

私はもう少し色を目にやさしい色にしたいと思う。けど、自分らしさをすてないように明るい色を多く使いたい。順番がはつきりわかるように矢印なども使うようにする。

発表会本番用として か×か

よりよいガイドブックにするには

修正の視点を具体的にまとめることによって次時の書き直しへの意欲を高めることができた。